

2005年8月4日

## HSBC、成田国際空港ボーディングブリッジにおいて 画期的な広告キャンペーンを開始

日本初の試みとなるボーディングブリッジでの広告

**東京発:** 世界有数の金融機関である HSBC は、本日成田国際空港において画期的な広告キャンペーンを開始する事を発表しました。秋にスタートするこのキャンペーンでは、成田国際空港の第一ターミナル、第二ターミナルの両方のボーディングブリッジ(旅客搭乗橋)に HSBC の広告が掲出される予定です。日本の空港において、このような広告キャンペーンが展開されるのは初の試みとなります。

成田国際空港より出発する乗客、または到着した乗客の両者をターゲットとしたこの広告キャンペーンは、2005年10月1日より2009年3月31日までの期間実施される予定です。HSBC はこの間、空港内の第一ターミナルと第二ターミナルに各 22 基、合計 44 基のボーディングブリッジの通路側 176 面及び外壁 88 面に独占的に広告を掲出する権利を獲得しました。

成田国際空港には現在 41 の国と地域の航空会社 68 社が乗り入れています<sup>注1)</sup>。2004年に成田国際空港を利用した出入国者数は約 3,200 万人<sup>注2)</sup>で、このキャンペーン中に 1 億人を超える空港利用者が HSBC の広告を目にすることが予測されます。

HSBC グループ在日代表グラハム・マクノートンは、「HSBC が世界経済また文化的に最も重要な国の玄関口である成田国際空港で、ボーディングブリッジを利用した史上初の広告キャンペーンを展開することは大変名誉なことであり、誇りに思っております。来年は HSBC にとって日本での営業を開始して 140 周年目となる節目の年です。このボーディングブリッジでの広告キャンペーンは、HSBC がお客様に提供している国際的なネットワーク、また営業を行っている地域での経験や知識などの特徴的なサービスを象徴するものです。」と述べています。

また、成田国際空港の黒野匡彦代表取締役社長は、「成田国際空港(NAA)にとって搭乗橋への広告掲出は、開港以来、初の試みとなります。搭乗橋広告は、空港をご利用になる多くのお客様に PR できる非常に効果的な媒体であると考えております。このたびは、先駆者である HSBC とパートナーシップを組めたことを光栄に思っております。NAA は民営化して1年経ちましたが、今後も新しい試みを積極的に展開し、より多くのお客様にご満足して頂けるよう様々な形でサービス提供をまいります。」と述べています。

次頁に続く

HSBC、成田国際空港ボーディングブリッジにおいて画期的な広告キャンペーンを開始／2

2000年3月のロンドン・ヒースロー空港でのキャンペーンを皮切りに、HSBCはパリのシャルル・ド・ゴール国際空港、上海浦東国際空港などの主要な空港において、このような広告キャンペーンを展開してきました。

**注記**

1: 2005年7月現在

2: 成田国際空港による発表

**HSBCグループ**

HSBCグループの持ち株会社であるHSBCホールディングス plc は英国に本部を置いています。HSBCグループは世界で1億1,000万人を超える顧客に対してサービスを提供しております。HSBCグループは、ヨーロッパ、アジア太平洋地域、アメリカ大陸、中近東、アフリカにまたがる77の国と地域に9,700を超える拠点を擁し、2005年6月30日現在1兆4,670億米ドルの総資産を持つ世界有数の金融機関です。

以上